

### 工事説明書

## 370L・460L 1缶式フルオートタイプ（一般地向け）

タイプ	システム形式	構成品		
		貯湯ユニット	ヒートポンプユニット	リモコンセット
370L	高圧力 パワフル給湯	HHP-YE37AY2	HTU-YE37AY2（屋外形）	HHP-YA451  (インターホンリモコンセット) HRS-FAD2(S)
	高圧力	HHP-Y37AY2	HTU-Y37AY2（屋外形）	
460L	高圧力 パワフル給湯	HHP-YE46AY2	HTU-YE46AY2（屋外形）	HHP-YA601
	高圧力	HHP-Y46AY2	HTU-Y46AY2（屋外形）	

**貯湯ユニット**

※既定金具(1個付属)

【同梱部品】

- 取扱説明書操作編
- 取扱説明書仕様編
- ワンポイントガイド
- 工事説明書
- 保証書

**ヒートポンプユニット**

【同梱部品】

- ドレンニップル

**リモコンセット**

- 台所リモコン
- 浴室リモコン

【同梱部品】

- 工事説明書
- 取付金具一式

**別売品**

- 脚カバー
- 壁固定金具
- 風向板
- 防雪カバー

※同梱されている説明書に従って取り付けてください。  
※その他の別売品についてはカタログを参照してください。

### 工事をされる方へのお願い

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に「工事説明書」を必ずお読みください。
- この説明書は、工事後「取扱説明書 操作編・仕様編」、「保証書」とともに、お使いになるお客様にお渡しし、保管いただくよう依頼してください。
- この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の部品を使用せず工事された場合、事故や故障の責任は負いかねます。(施工者責任になります。)

### お客様への取り扱い説明

取扱説明書 操作編・仕様編を使用して、正しい使い方をお客様に説明してください。特に以下の項目については十分説明してください。

- 「安全上のご注意」の項目は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので必ず守るように説明してください。(→取扱説明書 操作編)
- 給水専用止水栓の取付位置と開閉つまみの操作方法を説明してください。
- 「非常用取水栓の使い方」を説明してください。(→取扱説明書 仕様編)
- 設定項目を、お客様と相談し適切に設定してください。(運転モード、ふろ温度、ふろ湯量、電力契約、連絡先登録など)
- 特にお買い上げ時の運転モードの設定は、「おまかせ省エネ」になっています。「エコキュートの上手な使い方」と「運転モードの種類」の内容を説明してください。(→取扱説明書 操作編)
- 「お手入れと日常点検」の項目については、機器で具体的に説明してください。(→取扱説明書 操作編、仕様編)
- 「冬期の凍結予防について」の項目についても、機器で具体的に説明してください。(→取扱説明書 仕様編)

## 施工確認チェックリスト

●据付工事後は、必ずお客様の立会いのもとで、下記にあげた項目を確認してください。  
不具合があった場合は、必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか安全性が確保できません。)

据付環境	チェック項目		判定
	1	2	
据付環境	1	水道水を使用していますか。(温泉水・井戸水は使用不可)	
	2	寝室や近所の迷惑になる場所にヒートポンプユニットを据え付けていませんか。	
	3	各ユニットをガス類の容器や引火物の近くに設置していませんか。	
	4	塩害のおそれのある海岸付近や腐食性ガス発生のおそれのある温泉地等に設置していませんか。	
	5	ヒートポンプユニットを屋内に設置していませんか。	
	6	【高圧力パワフル給湯タイプの場合】給水圧力は300kPa以上、500kPa以下ですか。 【高圧力タイプの場合】給水圧力は200kPa以上、500kPa以下ですか。	
据付状態	1	貯湯ユニットの脚がアンカーボルトで固定されていますか。また、アンカーボルトの仕様や本数は適切ですか。	
	2	貯湯ユニットの基礎は満水時の質量に十分耐えますか。(370Lタイプ 約500kg、460Lタイプ 約600kg)	
	3	各ユニットのメンテナンススペースは確保されていますか。	
	4	ヒートポンプユニットの据付制約は守られていますか。	
	5	ヒートポンプユニットの防雪対策は問題ないですか。	
	6	貯湯ユニットから万が一水漏れした場合の排水処理は適切ですか。	
配管工事	1	給水回路に専用の止水栓を適切な位置に取り付けていますか。	
	2	ヒートポンプ配管の配管制約(材料、配管径、長さ、曲がりなど)は守られていますか。	
	3	ヒートポンプ配管は貯湯ユニットとヒートポンプユニットのA-A、B-Bの記号を合わせて接続していますか。	
	4	ヒートポンプ配管はベアチューブでなく独立した配管になっていますか。	
	5	ふる配管の配管制約(材料、配管径、長さ、曲がりなど)は守られていますか。	
	6	給湯配管は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか。	
	7	排水ホバはついてますか。排水口と排水ホバの排水口空間は50mm以上あいていますか。	
	8	排水配管は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか。また、排水配管にトラップを設け、封水されていますか。	
	9	浴槽循環口は指定品を使用していますか。また、取付位置は適切ですか。	
	10	各配管の保温工事は適切ですか。ヒートポンプ配管の埋設部にも保温材は巻いてありますか。	
	11	凍結する地域では各配管に凍結防止ヒータが施工されていますか。	
	12	ヒートポンプユニットの結露水を排水するドレンホース(市販品)は排水できる位置に導いてありますか。	
	13	耐熱性樹脂管の管口が直射日光にさらされていませんか。	
電気工事	1	電源は単相 AC200V ですか。	
	2	電力会社との契約は「時間帯別電灯契約」または「季節別時間帯別電灯契約」になっていますか。	
	3	電源ブレーカは付いていますか。また、定格は十分ですか。	
	4	電源線の太さは適切ですか。電源端子の締付け、挿入は適切ですか。	
	5	貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットのアース工事は適切ですか。(接地抵抗100Ω以下)	
	6	貯湯ユニット内の配線は前扉裏側の指示に従って適切に取りまわされていますか。	
	7	配線は端子台下のクランプで固定されていますか。また、配線は他の配線と干渉しないように取りまわされていますか。	
	8	リモコン線を適切に接続しましたか。1個のリモコンに対し、1本のリモコン線を使用していますか。	
	9	リモコン線と電源線およびヒートポンプ電源線は別々のPF管に通してありますか。	
	10	PF管は規定サイズ(リモコン線のPF管φ16、電源線およびヒートポンプ電源線のPF管φ22)のものを使用していますか。	
	11	PF管は貯湯ユニット内に50mm以上差し込まれていますか。	
完成調査・引渡し	1	貯湯ユニットを満水にしましたか。 減圧弁のストレーナ部をはずしてゴミづまりを点検しましたか。	
	2	ヒートポンプユニットのエア抜きをしましたか。	
	3	各配管からの水漏れはないですか。排水した場合、水抜き栓などの閉め忘れはありませんか。	
	4	湧上げ運転は正常に行われましたか。貯湯ユニットのB側接続口の温度が上がっていることを確認しましたか。	
	5	浴室に入ったときに、浴室リモコンのお知らせサイン(画面下のランプ)が白色に点灯しましたか。	
	6	湯はり試運転は正常に行われましたか。	
	7	貯湯ユニット、ヒートポンプユニット、リモコンの外枠に傷や変形はないですか。	
	8	湯水混合栓からの流量は十分ですか。	
	9	お客様へ引き渡すまで時間のある場合や凍結のおそれのある場合、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をしましたか。	
10	お客様への取り扱い説明、リモコンの各種設定を実施しましたか。		

〈据付工事店様記入〉	据付工事店名	電話番号	担当者名
------------	--------	------	------

販売元 **株式会社 ハウステック**

製造元 **株式会社 コロテ**

- 商品、各種サービスのお問い合わせ(お客様相談窓口)** 受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:30 (土・日・祝祭日、年末年始・夏期休暇日を除く)
  - 〈個人のお客様〉 **0120-801-761** (固定電話用) **0570-001-761** (携帯電話用/有料通話)
  - 〈法人のお客様〉 **0120-801-761** (固定電話用) **0570-001-761** (携帯電話用/有料通話)
  - 〈販売・施工など業者様〉 **0570-071-761** (有料通話)
- 修理のご依頼** 受付時間 24時間365日(修理訪問は日中、地域により休日あり)
  - 〈個人のお客様〉 **0120-102-471** (固定電話用) **0570-002-471** (携帯電話用/有料通話)
  - 〈販売・施工など業者様〉 **0570-022-471** (有料通話)

# 1.安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、据付工事をする方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使いかた・点検・お手入れのしかたを説明してください。工事説明書は取扱説明書 操作編・仕様編、保証書とともにお客様で保管していただくように依頼してください。

表示	表示の意味	表示	表示の意味
<b>警告</b>	"取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されること"を示します。	<b>注意</b>	"取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷(※2)を負うことが想定されるか、または物的損害(※3)の発生が想定されること"を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。  
 ※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。  
 ※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

●本文中に使用される図記号の意味は次の通りです。

	<b>禁止</b>		<b>アース工事</b>		<b>指示に従う</b>
--	-----------	--	--------------	--	--------------

### 警告

- ヒートポンプユニットは屋内に設置しない**  
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故(脳機能障害等)に至る原因となります。
- 機器の近くにガス類の容器や引火物を置かない**  
発火の原因となります。
- 上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施工する**
- 据え付けは、質量に充分耐える所に確実に**  
本体の転倒や落下により、けがをす原因となります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する**  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因となります。
- 漏電や断器の動作を確認する**  
故障のまま使用すると漏電のとき、感電の原因となります。
- 機器を浴室など湿気の多い所に据え付け**  
漏電による火災・感電の原因となります。
- 漏電しゃ断器や試運転スイッチは、ぬれた手で操作しない**  
感電する原因となります。
- アース工事(D種接地工事)を行う**  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針や電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不確実な場合は、漏電や故障のときに感電の原因となります。
- 据付工事は、指定の部品を使用する**
- 電源電線、連絡線は途中接続やより線の使用をせず所定のケーブルを使用し、端子台へ確実に接続する**  
接続や固定が不完全な場合は、発熱して火災の原因となります。
- 据え付けは、お買い上げの販売店または工事店に依頼する**  
お客様ご自身で据え付けをされ、不備があること火災・感電や水漏れの原因となります。

### 注意

- 設置床面は防水処理・排水処理をする**  
水漏れが起きたとき、大きな損害につながる原因になることがあります。
- 排水トラップを設ける**  
下水ガスが逆流して臭気が上がってきたり本体、配管が腐食し損傷や水漏れの原因になることがあります。
- 配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒータなどの凍結防止対策をする**  
正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。
- 井戸水、地下水、温泉水は使用しない(水質基準に適合した水を使用する)**  
塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域では、腐食による水漏れや配管詰まりによる故障の原因になることがあります。
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるような所に据え付け**  
漏電による火災や感電の原因になることがあります。
- 間接排水工事をする**  
タンクが破損し、水漏れの原因になることがあります。
- 屋外で開梱する場合は、風が当たらない安定した場所に仮置きする**  
強風によって製品が転倒し、事故の原因になることがあります。
- 配管・接続口の保温工事は、確実に**  
剥がれたりするとやけどの原因になることがあります。
- 動物に直接風が当たる所に据え付け**  
動物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。
- シャワー水栓はサーモスタット付き温水混合栓(並仕弁付)を使用する**  
やけどの原因になることがあります。
- ヒートポンプユニットの空気吸込口や熱交換器のフィンに触らない**  
けがの原因になることがあります。
- 貯湯ユニットの脚をアンカーボルトで固定する**  
地震などにより転倒して、けがの原因になることがあります。
- 屋外用貯湯ユニットを屋内に設置しない**  
水漏れによる拡大被害の原因になることがあります。
- 工事中は、手袋を着用する**  
金属端面によるけがや、高温部接触によるけがの原因になることがあります。

## お願い

- この製品はリモコンを接続しないと動作しません。必ずリモコン(台所リモコン、浴室リモコン)を接続して使用してください。
- 浴槽は有効水量180L~220L(満水容積340L以下の浴槽)が限度です。(それ以上の浴槽やタイル貼りの特殊浴槽では、追込ができなくなります。)
- ウォーターハンマー現象が発生する場合は、水撃防止装置を取り付けてください。
- 試運転終了後、エラーが出た場合は、台所リモコンまたは浴室リモコンにてエラーコードリセット処理を実施してください。エラーコードリセット方法については、「8-2. 試運転」の「お知らせ」中のエラー表示をしたときのリセット方法を参照してください。
- ガス機器から電気機器へ変更する際(ガス給湯器からエコキュートへの取り替え)は、事前にガス事業者への連絡が必要になります。ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されておりますのでご注意ください。
- 作業現場での運搬はユニットなどによる吊り上げを基本とし、人手による運搬の場合は肩かけバンドなどの運搬用機材を使用し、無理のないよう荷扱いに十分注意してください。
- 製品の上には乗らないでください。製品の变形や故障のおそれがあります。

# 2.据付工事の前に

## 2-1. 据付場所の選定

### ヒートポンプユニット・貯湯ユニット共通

- 機器と建物とのすき間寸法については、各都市の火災予防条例に従ってください。
- 機器の性能および保守点検のため「2-2. 据付に関する制約事項」を守って据え付けてください。
- メンテナンスできる場所に据え付けてください。
- 配管による放熱ロスを少なくするため、できるだけ給湯場所に近い所へ据え付けてください。
- テレビ・ラジオのアンテナより3m以上離してください。(テレビ・ラジオに映像のみだれや雑音が生じることがあります。)
- 次の場所には据え付けしないでください。
  - 最低気温が-10℃を下回る地域
  - (冬期の最低気温が-10℃を下回る地域では、機器の性能が十分発揮できないことがあります。)
  - 塩害のおそれのある海岸付近や腐食性ガス発生のおそれのある温泉地等
  - キッチンの換気扇の近く
  - ガス類の容器や引火物の近く
  - 水平でない場所、不安定な場所
  - 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
  - 排水のしにくい場所
  - 強風の当たる場所
  - 吹雪でヒートポンプユニットに雪が付着するような場所

### ヒートポンプユニット

- 通気性の良い場所で、強風の当たらない場所に据え付けてください。
- 沸上げ中および凍結予防運転中に若干の運転音、振動が発生します。また沸上げ中は冷風が出ますので、寝室近くや近所の迷惑になる場所への据え付けは避けてください。
- ヒートポンプユニットから出る冷風が、配管に当たらないようにしてください。能力不足や凍結の原因になります。
- 積雪地域へ据え付ける場合は、高置台の上に据え付けたり、防雪カバー(別売品)を取り付けるなど、降雪および除雪による雪が空気吸込口・吹出口から入らないようにしてください。また屋根等からの雪が直接落ちる場所への据え付けは避け、落雪から機器を保護してください。

### 貯湯ユニット

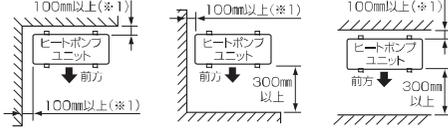
- 屋外形を屋内に据え付けしないでください。水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。
- 積雪地域へ据え付ける場合は、小屋がけにして、降雪および屋根からの落雪を防いでください。

## 2-2. 据付に関する制約事項

### 機器の据付制約

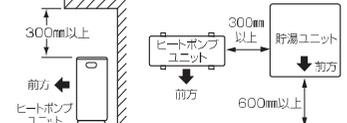
#### 【床置据付の制約】

- ヒートポンプユニットの上方向は風の流れを妨げないようにしてください。
- ヒートポンプユニット周辺に1方向しか障害物がない場合でも、下記寸法に準じて設置してください。



※1 防雪カバーを取り付ける場合は120mm以上必要です。

#### 【メンテナンススペースの制約】



#### 【3方向以上に障害物がある場合】

- ヒートポンプユニットの周囲3方向以上に壁などの障害物がある場合は、設置不可です。

### 配管の据付制約

#### 【ヒートポンプ配管】

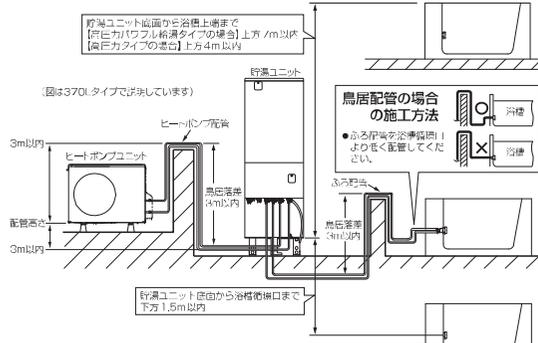
配管サイズ	銅管:φ12.7 耐熱性樹脂管:10A ※1
配管全長	片道15m以内、片道曲がり5カ所以内 ※2
配管高さ	ヒートポンプユニット底面より±3m以内
鳥居落差	3m以内(1カ所のみ)
配管保温材厚み	10mm以上

- ※1 ヒートポンプ配管には、必ず用、脱脂用指套を使用しないでください。耐熱性が低いので変形して水漏れのおそれがあります。また、お湯に臭いにつくことがあります。
- ※2 配管が長くなると自然放熱により湯上り温度が下がります。(15mを超える場合は、お問い合わせください。)

#### 【ふる配管】

配管サイズ	銅管:15A(1/2B) ※1 耐熱性樹脂管:13A ※2
配管全長	片道15m以内、片道曲がり10カ所以内
鳥居落差	3m以内(1カ所のみ) (浴槽が2階以上の場合は鳥居不可)
配管高さ	【高圧カタイプ(給湯タイプの場合)】
	【高圧カタイプの場合】

- ※1 銅管φ12.7を使用する場合は、片道6m以内、片道5曲がりまでとしてください。
- ※2 耐熱性樹脂管10Aを使用する場合は、片道6mまでとしてください。



#### 【給水配管】

配管サイズ	銅管:20A(3/4B) 樹脂管:16A
-------	-------------------------

#### 【給湯配管】

配管サイズ	銅管:20A(3/4B) 耐熱性樹脂管:16A
階下給湯	貯湯ユニット上面から湯水混合栓吹出口まで下方5m以内 ※

- ※ 貯湯ユニットの階下に湯水混合栓を設置する場合は、必ず負圧弁付き空気抜き弁(別売品)、流量調整バルブ(市販品)を取り付け、出湯時に気泡が出ないように流量調整バルブを絞ってください。



# 5. 配管工事

## 5-1. 配管工事のまえに

### 警告

- 上水道直結の配管工事は、当該水道局（水道事業者）指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用し施工する。配管破裂による水漏れの原因となります。

### 注意

- 井戸水、地下水、温泉水は使用しない（水質基準に適合した水を使用する）  
塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域では、腐食による水漏れや配管詰まりによる故障の原因になることがあります。
- シャワー水栓はサーモスタット付き湯水混合栓（逆止弁付）を使用する  
やけどの原因になることがあります。

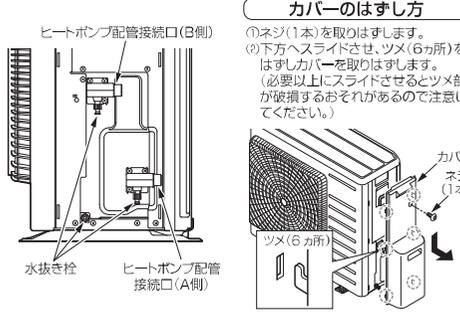
- 水栓は逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁のついていない湯水混合栓を使用した場合、逆流により逃し弁よりお湯が排水される場合があります。
- ヒートポンプ配管、給水配管、給湯配管および排水配管に使用する部材は水道法に合格した製品を使用してください。
- 給水圧力は【高圧カパワフル給湯タイプの場合】300kPa以上、【高圧カタイプの場合】200kPa以上で使用してください。
- 給水圧力は配管工事の前に圧力計を用いて測定してください。給水圧力が規定の圧力未満の場合は給水加圧装置（市販品）を取り付けてください。
- 給水圧力が500kPaを超える場合は、給水用減圧弁を設けてください。
- ウォーターハンマー現象が発生する場合は、水撃防止装置を取り付けてください。
- 耐熱性樹脂管および保温材は耐候性がありますので、配管が屋外で露出する場合は、必ず耐候性テープを正しく巻いてください。
- ヒートポンプ配管には、フレキ管を使用しないでください。フレキ管は、ふる配管接続部の位置ずれの吸収のみに使用可能です。（片道30cmまで）ただし、エアがみや放熱ロスを防ぐため、できるだけ使用を避けてください。
- 浴槽循環口は指定の無極性のもの（別売品：UKB-M19、UKB-M19R等）を使用してください。指定外のものを使用すると正常な運転ができない場合があります。

### お願い

- 機器に接続する配管設備は、地震その他の振動または衝撃に対して安全上支障のないように設置してください。
- 給水、給湯、ふるなどの配管および電気配線の壁貫通部はシール材にて防水処理をしてください。
- 給湯、ふる、ヒートポンプ配管などの温水配管は、配管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは配管を固定しないでください。
- 貯湯ユニット設置階の給湯回路に流量調整バルブを取り付け、階高さによる流量バランスを調整してください。
- 配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所付近に飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。
- 配管接合部のシール材は耐熱性・耐食性のある材料を使用してください。
- 配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが附着しますので、必ず中性洗剤で洗浄してください。また、キズやバリがないように面取りを行ってください。（通水後は各水栓、減圧弁などのストレーナ内のフィルターにゴミがたまってないか点検してください。）
- 樹脂配管を接着接続した場合は、接着剤が減圧弁ストレーナなどへ附着しないよう、硬化後に通水してください。
- 合併槽をご使用のときは、貯湯ユニット内の湯温を下げて（出湯して）から排水してください。

### ① ヒートポンプ配管

- 配管は必ず指定サイズを使用してください。指定外サイズを使用すると沸上げ性能低下や電気代が増える原因になります。
- 配管からの放熱を少なくするため、配管はできるだけ短くしてください。
- ベアチューブは使用せず、必ず独立した配管としてください。（ベアチューブは配管同士で熱交換されヒートポンプ性能が発揮されません。）
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットのA-A、B-Bの記号を合わせて接続してください。
- 配管の接続は、ナット深さ9mm以上の袋ナットを使用してください。
- ヒートポンプ配管には、フレキ管を使用しないでください。

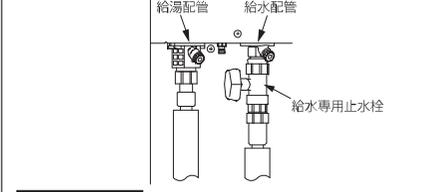


※1 ヒートポンプ配管には、ふる用、暖房用樹脂管を使用しないでください。耐熱性が低いので変形して水漏れするおそれがあります。また、お湯に臭いがつくことがあります。  
※2 配管が長くなると自然放熱により沸上り温度が下がります。（15mを超える場合は、お問い合わせください。）

### ② 給湯・給水配管

- 給水配管に給水専用止水栓をお客様が操作できる位置に取り付けてください。
- 止水栓を取り付ける際に閉閉つまみがしゃまになる場合は、閉閉つまみをはずして取り付けてください。止水栓を取り付けたら、閉閉つまみを元どりに戻してください。

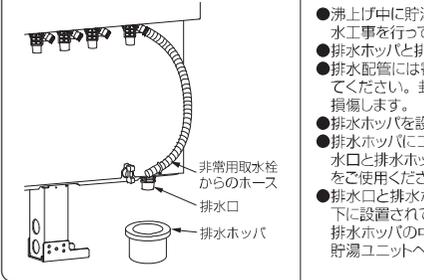
	使用配管材	配管サイズ
給水配管	耐食性を有するもの (銅管・樹脂管など)	銅管：20A(3/4B) 樹脂管：16A
給湯配管	耐熱性・耐食性を有するもの (銅管・耐熱性樹脂管など)	銅管：20A(3/4B) 耐熱性樹脂管：16A



### お知らせ

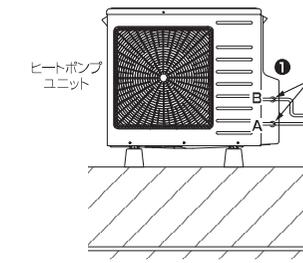
- 貯湯ユニット内の給湯配管に逆止弁が内蔵されているため、逆止弁付き給湯専用止水栓を取り付ける必要はありません。

### ③ ホースの取りまわし



### 樹脂製配管接続口の施工注意点

- 配管のパッキンは耐熱性ノンアスベストタイプ（耐熱95℃以上）を使用してください。（シールテープは使用できません。）
- 配管を接続する際は、締め付け方向以外に力をかけないようにして、ダブルスパンで締め付けてください。機器が破損することがあります。
- 配管の締付トルクは、★1は15～20N・m、★2は18～20N・mで行ってください。（手でしっかりと締めた後、ダブルスパンで1/6回転程度増し締めするのが目安です。）



## 5-2. 配管工事（標準施工例）

### ③ ふる配管

- 配管の接続は、ナット深さ9mm以上の袋ナットを使用してください。
- フレキ管は、ふる配管接続部の位置ずれの吸収のみに使用可能です。（片道30cmまで）ただし、エアがみや放熱ロスを防ぐため、できるだけ使用を避けてください。
- ベアホースは放熱ロスが大きいため、使用はできません。
- 配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。

### 鳥居配管の場合の施工方法

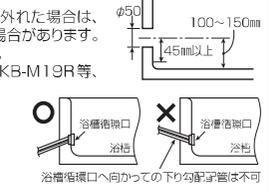


使用配管材	配管サイズ	配管全長	鳥居落差	配管高さ
耐熱性・耐食性を有するもの (銅管・耐熱性樹脂管など)	銅管：15A(1/2B) ※1 耐熱性樹脂管：13A ※2	片道15m以内、 片道曲がり 10ヶ所以内	3m以内 (1ヶ所のみ) ただし浴槽が 2階以上の場 合は取付不可	【高圧カパワフル給湯タイプの場合】 階下は不可 （貯湯ユニット底面から 浴槽上端まで上方7m以内 浴槽循環口まで下方1.5m以内） 【高圧カタイプの場合】 階下と3階以上は不可 （貯湯ユニット底面から 浴槽上端まで上方4m以内 浴槽循環口まで下方1.5m以内）

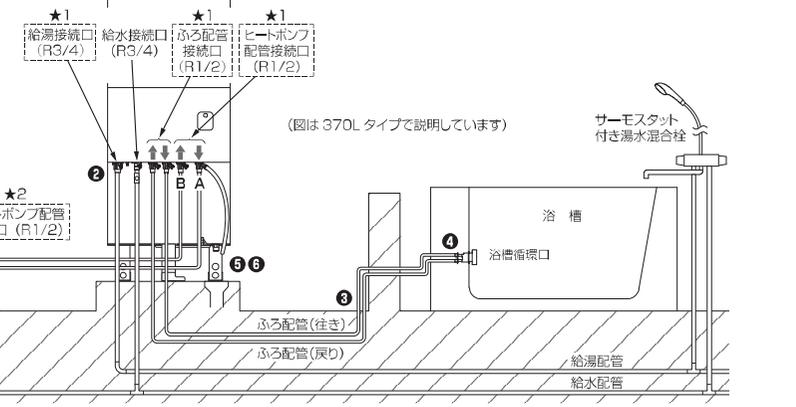
※1 銅管φ12.7を使用する場合は、片道6m以内、片道5曲がりまでとさせていただきます。  
※2 耐熱性樹脂管10Aを使用する場合は、片道6mまでとさせていただきます。

### ④ 浴槽の穴あけ工事

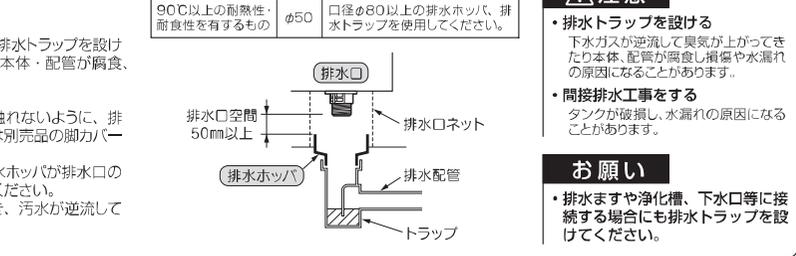
- 浴槽の穴は、底面から100～150mmの位置にあけてください。推奨値を外れた場合は、不具合起こる可能性があります。また、浴槽形状により取付位置が変わる場合があります。
- 穴径のセンターは浴槽底面の曲がり終了位置から45mm以上確保してください。
- 浴槽循環口は指定のものを使用してください。（別売品：UKB-M19、UKB-M19R等、無極性のものを使用）
- 浴槽循環口の施工は同梱の説明書に従ってください。
- 浴槽循環口への下り勾配配管はしないでください。（ふる自動運転が正常にできない場合があります。）



- 浴槽循環口の施工後、濡れ検査治具にて濡れ検査を実施してください。



使用配管材	サイズ	備考
90℃以上の耐熱性・耐食性を有するもの	φ50	口径φ80以上の排水ホッパー、排水トラップを使用してください。



### 注意

- 排水トラップを設ける  
下水ガスが逆流して臭気が上がってきたり本体、配管が腐食し漏れの原因になることがあります。
- 間接排水工事をする  
タンクが破損し、水漏れの原因になることがあります。

### お願い

- 排水ますや浄化槽、下水口等に接続する場合にも排水トラップを付けてください。

# 5.配管工事(つづき)

## 2階や3階への配管施工例

- 2、3階へ給湯する場合は、下図のように行ってください。

### 【高圧カパワフル給湯タイプの場合】

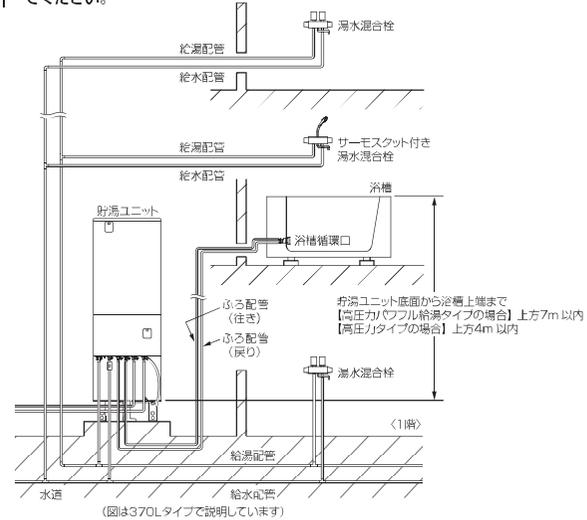
- 貯湯ユニット底面から9m以内の高さまでシャワーの使用が可能です。
- 貯湯ユニット底面から浴槽上端まで7m以内の高さまで湯はりが可能です。

### 【高圧カタイプの場合】

- 3階ではシャワーは使用できません。(手洗い程度であれば使用できます。洗髪洗面化粧台は使用できません。)

## お願い

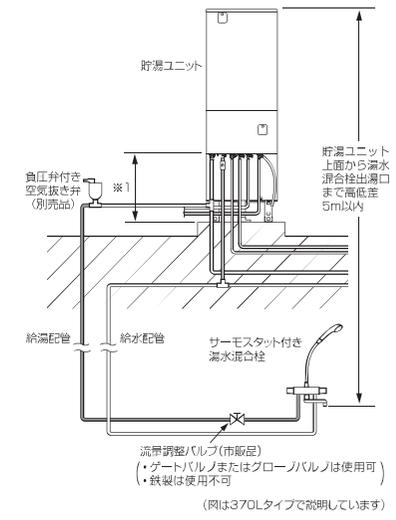
- ・機器に接続する配管設備は、地震その他の振動または衝撃に対して安全上支障のないように設置してください。
- ・給水、給湯、ふろなどの配管および電気配線の壁貫通部はシール材にて防水処理をしてください。



(図は370Lタイプで説明しています)

## 階下給湯の配管施工例

- 給湯配管の高低差は5mまで(貯湯ユニット上面から湯水混合栓出口口まで)としてください。(階下へのふる配管はできません。)
- 給湯配管には必ず負圧弁付き空気抜き弁(別売品)、流量調整バルブ(市販品)を取り付け、出湯時に気泡が出ないように流量調整バルブを絞ってください。
- 負圧弁付き空気抜き弁(別売品)は、設置面と配管接続面の間(※1)かつ、点検可能な位置に取り付けてください。
- 流量調整バルブ(市販品)は、負圧弁付き空気抜き弁(別売品)と階下の湯水混合栓との間の給湯配管(アミかけ範囲内)で、かつ操作できる位置に取り付けてください。



(図は370Lタイプで説明しています)

## 5-3. 凍結防止工事

- 保温工事があっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので、凍結防止ヒータを取り付けてください。

## ⚠️ 注意

- ・配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒータなどの凍結防止対策をする正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。

## 凍結防止ヒータ(市販品)施工例

- 凍結防止ヒータは凍結のおそれがある配管・止水栓および配管接続口など全てに施工してください。凍結防止ヒータは配管に直接取り付け、その上に保温材を巻きます。

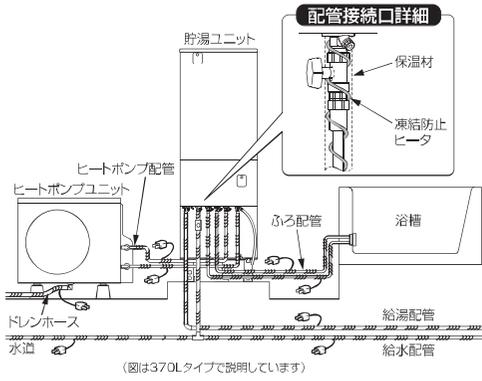
**推奨品** 凍結防止ヒータ：東京特殊電線(株)製  
…NFオートヒータ(自己温度制御型)

※一般市販のサーモスタットタイプは温度誤検知のおそれがあります。

- 本機はヒートポンプ配管の凍結予防機能が付いていますが、冬期に電源を切ると凍結予防運転は行いませんので、長期間不在等で電源を切る場合には凍結防止ヒータを取り付けてください。また、機器の水抜きを行ってください。
- ふる配管は、循環ポンプによる凍結予防運転を行います。凍結防止ヒータも取り付けてください。
- 凍結防止ヒータ用のコンソートを適切に位置に設置してください。
- 冬場に風の強い地域や山間部等の特に凍結のおそれがある地域については、別売品の脚カバーを取り付けて、配管に風が当たらないようにしてください。

## お願い

- ・凍結防止ヒータの施工はヒータ同梱の説明書に従ってください。
- ・凍結防止ヒータの取扱方法、操作方法をお客様に十分説明してください。



(図は370Lタイプで説明しています)

## 5-4. 保温工事

- 配管工事終了後、試運転を行い配管接続部での水漏れの有無を点検してから、保温工事をしてください。
- 給水配管、給湯配管、ヒートポンプ配管およびふる配管は、必ず保温工事を行ってください。また、給湯配管、ヒートポンプ配管およびふる配管は耐熱保温材を使用してください。

保温材：厚み10mm以上で各水道局指定の厚みに従ってください。

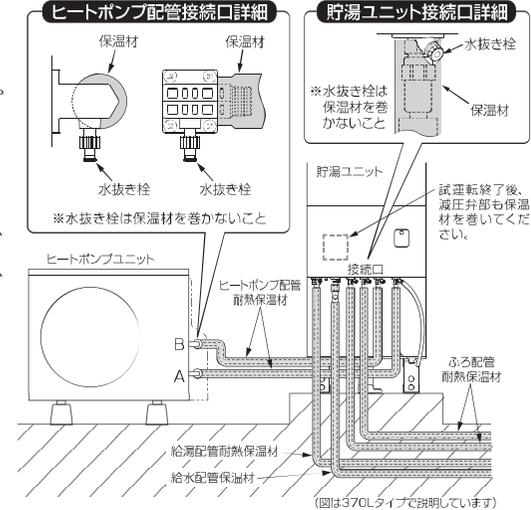
## お願い

- ・ヒートポンプ配管およびふる配管にも確実に保温工事を行ってください。保温工事が正しく行われていないと、配管の途中で放熱してしまい正常に沸上げや湯はりができません。また、冬期では凍結のおそれがあります。
- 保温工事をした部分は、保温材がぬれないようテープなどで必ず防水処置をしてください。
- 埋設配管の場合、給水・給湯配管については凍結防止のため、凍結深度まで保温工事をしてください。ヒートポンプ配管およびふる配管については放熱防止のため、埋設深度にかかわらず必ず保温工事をしてください。
- ヒートポンプユニットのヒートポンプ配管接続口(A側、B側)にも必ず保温工事をしてください。

## ⚠️ 注意

- ・配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒータなどの凍結防止対策をする正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。
- ・配管・接続口の保温工事は、確実に行う。剥がれたりするとやけどの原因になることがあります。

配管名	使用保温材
給水配管	一般用
給湯配管・ふる配管	耐熱80℃以上
ヒートポンプ配管	耐熱100℃以上



(図は370Lタイプで説明しています)

## 5-5. 定期点検(有料)

- 本機器は給水用具(逆流防止装置)を内蔵しております。機器を安全・快適にお使いいただくために、公益社団法人 日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検(有料)の実施をおすすめします。時期は4~6年に1回程度をおすすめします。

# 6.リモコン取付工事

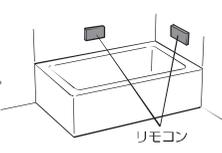
- リモコンの取付工事は、リモコン同梱の工事説明書に従い確実に行ってください。
- 台所リモコンは防水タイプではありませんので、水しぶきや湯気、油のかかるところには取り付けできません。
- 浴室リモコンと壁の間は、水や蒸気が浸入しないよう全周にシリコンシーリング剤を塗布してコーキングしてください。
- ドアホン機器や電子レンジなどの電波を発する機器、テレビなどの電化製品の近くに取付けないようにしてください。上下左右20cm以上離してください。
- リモコン同士が近接するところや同一の壁は避けて取り付けてください。
- HEMSに接続する場合は、別売品のモドルウェアアダプターの工事説明書を参照してください。

## お願い

- ・浴室リモコンには浴室に人が入ったことを検知する人感センサーが搭載されています。浴室リモコンの取付工事が正しく行われていないと、浴室に入ったときや入浴中に、人感センサーが入浴者を正しく検知しない場合があります。

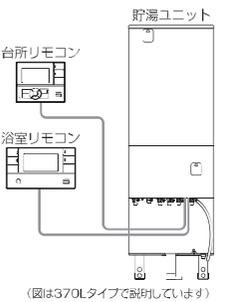
## 浴室リモコン取付位置推奨例

- 浴室リモコンは右図のように、浴槽の短辺または長辺壁面の中央付近への取り付けを推奨します。
- 浴室リモコンは目線の高さとなるように取り付けてください。



## 入浴者を正しく検知しない例

- 人感センサー検知範囲に浴室暖房機などの発熱体がある場合や、窓が開いた状態でリモコンに直射日光が当たると、入浴者がいないのに誤検知する場合があります。
- 広い浴室では、リモコンを浴室のすみに取り付けると、洗い場にいるときに検知しない場合があります。
- リモコンを高い位置に取り付けると入浴時に検知しない場合があります。※詳細はリモコンに同梱されている工事説明書を参照してください。



(図は370Lタイプで説明しています)

# 7.電気工事

- 電力契約は「時間帯別電灯契約」または「季節別時間帯別電灯契約」としてください。
- 引込み配線方式(A方式、B方式)を確認していただき、これに合わせた配線工事を行ってください。
- 必ずタンクを満水にしたことを確認してから電源を入れてください。
- 保護アース(接地)工事は万一の感電事故防止のため、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に基づき、電気工事士によるD種接地工事(接地抵抗100Ω以下)を行ってください。
- アース(接地)工事は水道管、ガス管への接地および他の機器の接地との共用はできません。
- 配線の際には、干渉による機器内の他部品の変形やはずれないように注意してください。
- 他の機器や配線と干渉しないように配線を行ってください。(ノイズ等の原因になることがあります。)

## 警告

- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因となります。
- アース工事(D種接地工事)を行うアース線は、ガス管、水道管、避雷針や電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不確実な場合は、漏電や故障のときに感電の原因となります。

## お願い

- 貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットへのアース接続はカシメ部分に樹脂スリーブのない丸型端子(市販品:M4)を圧着して接続してください。(スリーブ付きは単線の場合、カシメが不十分になるおそれがあります。)

## 必要部材

名称	仕様
電源ブレーカ	単相 AC200V、20A
電源線	3.5mm(φ2.0) VV線(2芯式) PF管:φ22
ヒートポンプ電源線 ※1	φ2.0 VVF線(3芯式) PF管:φ22
リモコン線 ※2	0.3mm(2芯式) PF管:φ16
アース線	φ1.6 IV線

※1 ヒートポンプ電源線は指定仕様の配線を使用してください。  
 ※2 リモコン線の巻き足し、数珠つなぎ配線、枝分かれ配線は行わないでください。

## 7-1. 貯湯ユニットへの配線接続

- ① ネジ2本をはずして前扉下部を手前に引いて下に降ろし、前扉をはずす。  
 ・前扉や外板の端面で手を切らないように注意してください。

## 注意

- 屋外で閉鎖する場合は、風が当たらない安定した場所に設置する。強風によって製品が転倒し、事故の原因になることがあります。
- ② アース線(市販品1本)を貯湯ユニット下部のアース端子へ接続する。  
 ・漏電しゃ断器の近くにもアース端子があります。どちらかに必ずアース線を接続してください。

## お願い

- 丸型端子(市販品:M4)を圧着して接続してください。丸型端子はカシメ部分に樹脂スリーブのない裸のものを使用してください。(スリーブ付きは単線の場合、カシメが不十分になるおそれがあります。)
- ③ 電源ブレーカから貯湯ユニットまでの電源線を、PF管(φ22)に通す。
- ④ 各リモコンから貯湯ユニットまでのリモコン線(2本)をPF管(φ16)に通す。
- ⑤ 配線を通したPF管を、貯湯ユニット下部の刻印に従って各配線取入口から貯湯ユニット内へ通す。
- ⑥ 配線を貯湯ユニット前扉の裏側に貼ってある配線図のとおり、貯湯ユニットの各接続先まで導く。このとき「機内配線上的ご注意」の指示に従ってください。

## お願い

- PF管は必ず規定のサイズを使用してください。また、途中で切れ目のない連続したものを使用してください。(隙間から虫が侵入し不具合が発生するおそれがあります。)
- 他の部品と干渉しないように配線してください。
- リモコン線と電源線を同一PF管内に入れしないでください。(誤作動の原因になります。)
- ⑦ 電源線(電源ブレーカから)を貯湯ユニットの漏電しゃ断器へ接続(ねじ締め)し、固定金具で固定する。

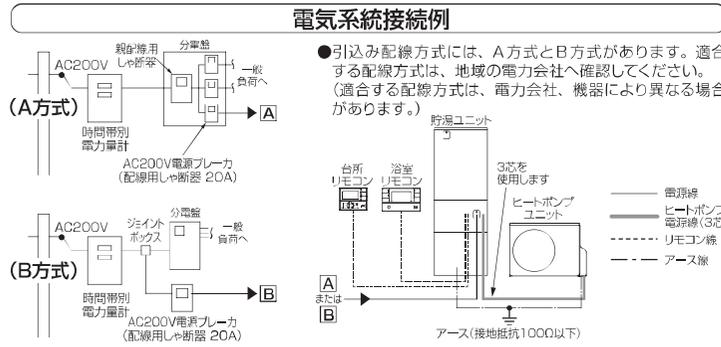
## お願い

- 丸型端子(漏電しゃ断器に付属)を圧着して接続してください。付属品を使用できない場合は、丸型端子はカシメ部分に樹脂スリーブのない裸のものを使用してください。(スリーブ付きは単線の場合、カシメが不十分になるおそれがあります。)
- 丸型端子をねじ締め、電源線を引っぱり、抜いたりねじが緩まないことを確認してください。
- ⑧ 2本のリモコン線の各線のリモコン接続端子に圧着し、クランプで固定する。

## お願い

- 圧着部からリモコン線が抜けなことを確認してください。

## 電気系統接続例

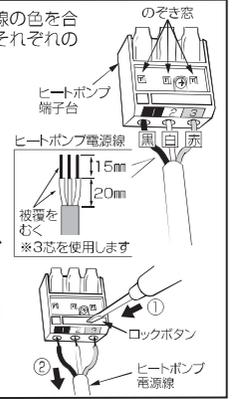


## ヒートポンプ端子台への接続方法

- ヒートポンプ端子台とヒートポンプ電源線の色を合わせ、のぞき窓で確認しながら端子台のそれぞれの挿入口より差し込んでください。

## お願い

- 必ず指定の電源線を使用し、色を合わせて接続してください。接続を間違えると基板が故障するおそれがあります。
- ヒートポンプ電源線は被覆を図の寸法に従ってむいて使用してください。
- 差し込み後、ヒートポンプ電源線を引っぱり、ヒートポンプ端子台から抜けなことを確認してください。



## 【参考：ヒートポンプ電源線の取りはずし方】

- ドライバーなどでヒートポンプ端子台のロックボタンを押した状態でヒートポンプ電源線3本を一気に引き抜きます。

## 7-2. ヒートポンプユニットへの配線接続

- ① 貯湯ユニットからヒートポンプユニットまでのヒートポンプ電源線をPF管(φ22)に通す。
- ② ヒートポンプ電源線を通したPF管を、貯湯ユニット下部のヒートポンプ電源線取入口から貯湯ユニット内へ通す。
- ③ ヒートポンプ電源線と、貯湯ユニット前扉の裏側に貼ってある配線図のとおり、貯湯ユニットの各接続先まで導く。このとき「機内配線上的ご注意」の指示に従ってください。

## お願い

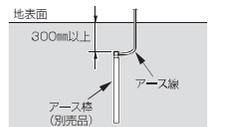
- PF管は必ず規定のサイズを使用してください。また、途中で切れ目のない連続したものを使用してください。(隙間から虫が侵入し不具合が発生するおそれがあります。)
- 他の部品と干渉しないように配線してください。
- リモコン線とヒートポンプ電源線を同一PF管内に入れしないでください。(誤作動の原因になります。)
- ④ ヒートポンプ電源線を貯湯ユニットのヒートポンプ端子台へ差し込み、固定金具で固定する。
- ⑤ ヒートポンプユニットの端子台カバーを取りはずし、ヒートポンプ電源線およびアース線(市販品1本)をヒートポンプユニット下から電源取入口まで配線する。
- ⑥ アース線をアース端子へ接続する。

## お願い

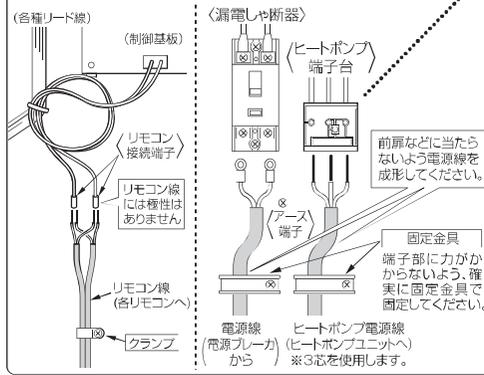
- ヒートポンプ配管の接続口(B側)は90℃以上の高温になりますので、配線の際にヒートポンプ電源線およびアース線がヒートポンプ配管の接続口(B側)に触れないようにクランプで固定してください。
- 水抜きの際など、PF管内に水が入らないように、配線したPF管の端子側の端がヒートポンプ配管の接続口(B側)より上になるように固定してください。

## 7-3. アース棒の取り付け

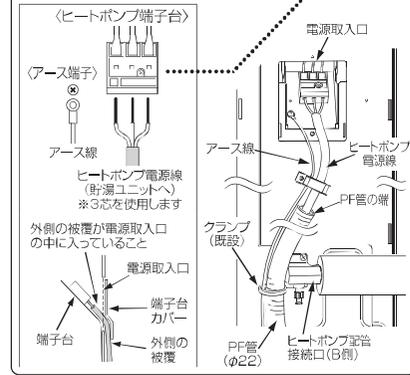
- ① アース線(2本)をアース棒(別売品:CHP-E1)にかしめて接続してください。
- ② アース棒を地中300mm以上の深さに打ち込んでください。



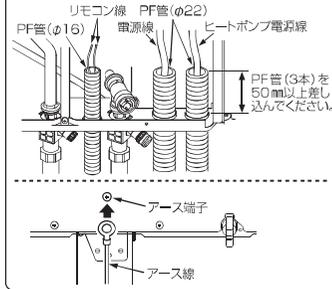
## 貯湯ユニット内への配線



## ヒートポンプユニットへの配線

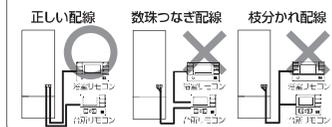


## 貯湯ユニットへの配線

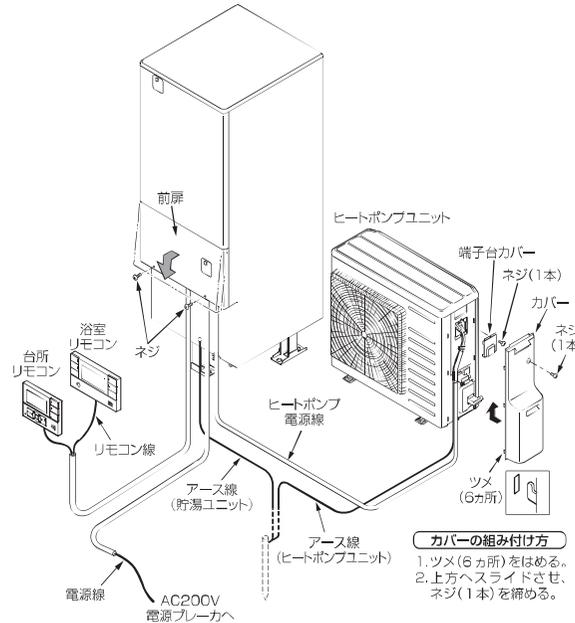


## リモコン線

- リモコン線は、長さ30mm以内で使用してください。30mmを超えると、機器の作動不良の原因になります。
- 1個のリモコンに対し、1本のリモコン線を使用してください。リモコン線のリモコン接続端子以降の途中で中継して、リモコンからリモコンへ数珠つなぎ配線したり、途中で枝分かれ配線したりすると、誤作動の原因になります。



貯湯ユニット(図は370Lタイプで説明しています)



## カバーの組み付け方

1. ツメ(6カ所)をはめる。
2. 上方へスライドさせ、ネジ(1本)を締める。

# 8. 試運転

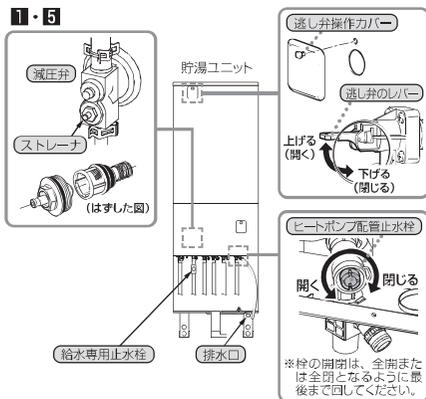
## 8-1. 試運転の前に

- 据付工事後は、お客様の立会いのもとで工事説明書の「施工確認チェックリスト」に従い、施工状況を確認してください。
- お客様立会いで試運転を実施し、設定項目の確認を行ってください。
- 給水は全ての配管接続および電気工事終了後に下記手順で行ってください。  
(未接続の場合は正常に給水できません。手順が異なることとエア抜きが十分できず、沸上げ異常になります。)
- 試運転の途中、各配管に水漏れがないことを確認してください。

## 8-2. 試運転

### 1 給水

- 貯湯ユニット内のヒートポンプ配管止水栓が全開になっていることを確認する。
- 逃し弁のレバーを上げ、給水専用止水栓を開く。
- 数分間通水したら給水専用止水栓を閉じる。
- 減圧弁のストレーナ部をはずしてゴミ詰りを点検する。  
(部品に水がかからないように水を受けてください。)
- ストレーナ部を元に戻して、再度、給水専用止水栓を開く。
- タンク内が満水になると排水口から勢いよく水が出るので、逃し弁のレバーを下げる。(約20分で満水になります。)
- 給水配管に水漏れがないことを確認する。

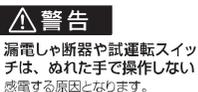


### 2 ヒートポンプ配管のエア抜き

- 熱交水抜き栓を開く。3分以上、十分にエアが抜けるまで行う。
- 十分エアが抜けたら、熱交水抜き栓を閉じる。
- B側水抜き栓を開く。3分以上、十分にエアが抜けるまで行う。
- 十分エアが抜けたら、B側水抜き栓を閉じる。
- ヒートポンプ配管に水漏れがないことを確認する。

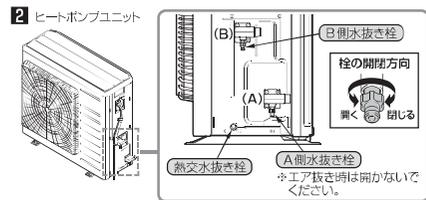
### 3 漏電しゃ断器の動作確認

- AC200Vの電源ブレーカーを「ON」にする。
- 漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする。
- 漏電しゃ断器のテストボタンを押す。(電源レバーが「OFF」になることを確認してください。「OFF」になれば正常です。)
- 再度、漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする。



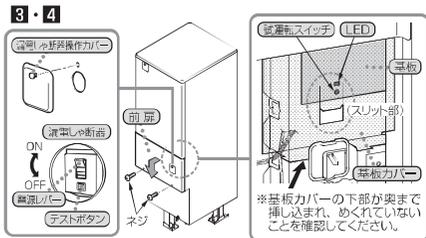
### 4 ヒートポンプ配管のエア抜き運転

- 前扉をはずし、基板カバーのスリット部を押し込んで基板上の試運転スイッチを押す。(LEDが点滅し、ヒートポンプ配管のエア抜き運転を開始します。)
  - ヒートポンプ配管のエア抜き運転中は、リモコンに「HPエア抜き運転中」を表示します。エア抜き運転は、約10分で終了します。
- ※ エア抜きが不十分だと、沸上げ運転中、リモコンにエラーコード「H22」を表示します。  
※ 基板カバーの下部が奥まで挿し込まれ、めくれていることを確認してください。(隙間から虫が侵入し、不具合が発生するおそれがあります。)



### 5 貯湯ユニットのエア抜き

- 逃し弁のレバーを上げ、貯湯ユニット内のエアを取り除く。
- 排水口からエアが出なくなったら、逃し弁のレバーを下げる。



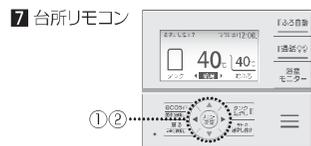
### 6 給湯・給水配管のエア抜き

- 各湯水混合栓をお湯側にして開く。エアが出なくなったら栓を閉じる。同様に冷水側も行う。
- 配管に水漏れがないことを確認する。



### 7 電力契約の設定 (初期設定: 設定1)

- リモコンに表示される内容を確認し、**設定**を押す。
- 設定**で設定番号を選び、**決定**を押す。  
任意に電力契約の設定を変更する場合は、**設定**と**決定**を同時に5秒以上長押ししてください。



### 8 日時合わせ

- 設定**を設定後、**設定**で日時を合わせ、**決定**を押す。  
日時合わせをすると自動でヒートポンプ配管のエア抜き運転を開始します。  
(4で既にエア抜き運転を行った場合は**設定**でエア抜き運転が解除できます。)
- 任意にヒートポンプ配管のエア抜き運転を行う場合は、日時設定後に**設定**と**決定**を同時に5秒以上長押しする。

## 9 沸上げ運転

- エア抜き運転終了後、沸上げ運転を自動で開始します。  
沸上げ運転中は、リモコンに「湯増し中」を表示します。
- ヒートポンプユニットが30分以上正常に運転し、貯湯ユニットのB側接続口の温度が上がってきていることを確認する。  
やけどに注意してください。

## 10 HEMS接続の設定 (初期設定: 切断する)

- 台所リモコンの**設定**と**決定**を同時に5秒以上長押しする。
- 取扱説明書 操作編「HEMS接続の設定」を参考にして設定する。

## 11 連絡先登録

商品、各種サービスのお問い合わせ(お客様相談窓口)の番号が登録されています。変更する場合は、取扱説明書 操作編「オプション設定」の「連絡先登録」を参考に設定してください。

## 12 人感センサーの検知確認

浴室の洗い場にいるときに、浴室リモコンのお知らせサイン(画面下のランプ)が白色に点灯することを確認してください。  
浴室を退室後、一定時間経過するとお知らせサインは消灯します。

## 13 湯はり試運転

- 浴槽の水を排水し、浴槽の栓をする。
- 浴室リモコンの**湯はり**と**決定**を同時に5秒以上長押しする。  
水による湯はり試運転を開始します。  
・日時合わせをしていない場合は、湯はり試運転はできません。  
・ふる湯量は180L(初期設定)です。  
ふる湯量を変更する場合は、**湯はり**を押して、**決定**で数値を選び、5秒経過すると設定されます。(台所リモコンで変更する場合は、取扱説明書 操作編「ふる自動運転の設定をする」を参考に設定してください。)
- 湯はり完了後、ふる湯量(水位)を確認する。
- 浴槽の水を排水する。

## お知らせ

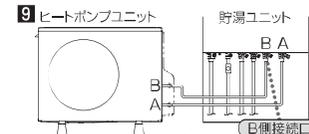
- 設置後2回目までの湯はりは、浴槽の容量を学習するため湯はり時間が若干長くなります。
- 試運転時に下記の現象が発生した場合は、下記の項目を点検してください。

現象	原因
・リモコンが表示しない	・リモコン線が断線または短絡している。
・エラーコード E27、E45	・ヒートポンプ電源線の接続不良、誤配線。(色相間違い)
・エラーコード H27	・電源電圧が100Vに接続されている。
・エラーコード E36、H03、H16、H19、H21	・ヒートポンプ配管A側、B側が逆に接続されている。
・エラーコード E14、E16、E20、E52	・ヒートポンプ配管のエア抜き不足。
	・貯湯ユニット内のヒートポンプ配管止水栓が全開になっていない。
	・ヒートポンプ配管に折れ、つぶれがある。
	・ヒートポンプ配管に逆止弁付き止水栓が取り付けられている。
	・鳥居配管が2カ所以上あるなどしてエアたまりができています。
	・ふる湯量に折れ、つぶれがある。
	・給水専用止水栓が閉じている。
	・鳥居側のふる湯配管で浴槽排水口以下の配管になっていない。
	・ストレーナにゴミがまっついている。

- ・エラー表示をしたときのリセット方法は、**設定**と**決定**を同時に5秒以上長押しする。(浴室リモコンの場合は、**湯はり**と**決定**を同時に5秒以上長押しする。)
- ・その他のエラーを表示したときおよび、処置をしていも現象が改善されない場合は、お買い上げの販売店または修理のご依頼までご連絡ください。

## 7 リモコン設定番号と電力契約一覧表 (2019年1月現在)

リモコン	深夜時間帯	電力会社	契約名称
設定1	23:00~7:00	東北電力	よりそうナイト9 よりそうリサーチ やぐのナイト8 ヒーリング専用湯増し専用 おとくなナイト8 ヒーリングプラン タイムプラン コノナイト8
		関西電力	時節別電灯 季節別電灯PS はびタイム はびタイムR 倍速ナイト 電力化ナイト ナイトにも併用電灯 ナイトにも併用電灯 E6ホーム用リチウム電池 E6ホーム用リチウム電池 時節別電灯
設定2	22:00~8:00	東北電力	よりそうナイト6 よりそうナイト10 よりそうナイトS やぐのナイト10 やぐのナイトS
		関西電力	エルファイト10 エルファイト10プラス eスマート10 eスマート10 電力化ナイト-セレクト22 時節別電灯 季節別電灯 ピークシフト電灯
設定3	23:00~7:00	中部電力	スマートライフ スマートライフプラス
設定4	23:00~7:00	中部電力	スマートライフプラス スマートライフプラス
設定5	23:00~8:00	西日本電力	ファミリータイム、エコノミーナイト、電灯ピークシフトプラン
設定6	23:00~7:00	北陸電力	ドリーム8、ドリーム8エコ
設定7	22:00~6:00	北陸電力	ドリーム8、ドリーム8エコ
設定8	24:00~8:00	北陸電力	ドリーム8、ドリーム8エコ
設定9	22:00~8:00	北陸電力	eタイムプラス、eタイム3プラス、eタイム3Mプラン
設定10	深夜時間帯を任意に設定できる。 (開始:20:00~1:00、終了:5:00~8:00)	北陸電力	スマートライフプラス、スマートライフプラス、スマートライフプラス、スマートライフプラス
設定11	1:00~8:00	東京電力	スマートライフS、スマートライフ、スマートライフプラス
設定12	21:00~9:00	東北電力	よりそうナイト12 おとくなナイト2 スマートライフプラス ナイトリデューコース
設定13	22:00~8:00	東北電力	よりそうシーズン&タイム
設定14	21:00~7:00	中部電力	スマートライフプラス スマートライフプラス スマートライフプラス
設定15	23:00~9:00	中部電力	スマートライフプラス スマートライフプラス スマートライフプラス
設定16	20:00~8:00	北陸電力	くろぎナイト12



## 12-10 浴室リモコン



## お願い

- ・必ず湯はり試運転を完了させてください。
- ・残り湯等、水のある状態で湯はり試運転をしないでください。水位を誤検知し、次回以降の湯はりが正常に行われません。

## 8-3. 一時的に給湯専用として使用する場合

- 本機はふる機能が動作しないように、給湯専用として使用することができます。
- 浴室のリフォームを後日に行うような場合、給湯専用を設定してください。
- 給湯専用を設定する場合、台所リモコンを使用し、浴室リモコンは接続しないでください。また、浴室リモコンは紛失しないよう保管してください。
- 給湯専用を設定中は、リモコンに「給湯専用モード」を表示します。

### 【給湯専用モード設定方法】

- ① **設定**と**決定**を同時に5秒以上長押しする。
- ② **決定**で、「設定する」を選ぶ。

※ お風呂を使用する場合は、②で「解除する」を選んでください。解除後は、湯はり試運転を行ってください。



